

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



漢色草の巻

六

へ13
2939
6



2939
6

おん
めりて

み

や

の

長門

春色恵の花二編卷之下

江戸狂訓亭主人著



第十一回

湯より上りて十分小粧ひし糸のうらみさ
きひきひ 小所もここ 不不 競競 く看看 とさとさ ハ古風と唐の彩彩
久久 ぬぬ てて らら くく けけ 染染 小小 ねね ぶぶ ぐぐ ぐぐ 但但 一一 座座 小小 々々 々々
色色 ハハ 采采 をを ぬぬ ぐぐ 對對 するする のの 色色 友友 式式 しくしく 座座 とうとう つつ い
てて 小小 例例 のの 詞詞 へへ んん ぞぞ 笑笑 味味 のの をを 決決 山山 のの 以以 付付 くく 事事 々々



弾たまりヨ糸 一糸 二糸 三糸 四糸 五糸 六糸 七糸 八糸 九糸 十糸
 十一糸 十二糸 十三糸 十四糸 十五糸 十六糸 十七糸 十八糸 十九糸 二十糸
 二十一糸 二十二糸 二十三糸 二十四糸 二十五糸 二十六糸 二十七糸 二十八糸 二十九糸 三十糸
 三十一糸 三十二糸 三十三糸 三十四糸 三十五糸 三十六糸 三十七糸 三十八糸 三十九糸 四十糸
 四十一糸 四十二糸 四十三糸 四十四糸 四十五糸 四十六糸 四十七糸 四十八糸 四十九糸 五十糸
 五十一糸 五十二糸 五十三糸 五十四糸 五十五糸 五十六糸 五十七糸 五十八糸 五十九糸 六十糸
 六十一糸 六十二糸 六十三糸 六十四糸 六十五糸 六十六糸 六十七糸 六十八糸 六十九糸 七十糸
 七十一糸 七十二糸 七十三糸 七十四糸 七十五糸 七十六糸 七十七糸 七十八糸 七十九糸 八十糸
 八十一糸 八十二糸 八十三糸 八十四糸 八十五糸 八十六糸 八十七糸 八十八糸 八十九糸 九十糸
 九十一糸 九十二糸 九十三糸 九十四糸 九十五糸 九十六糸 九十七糸 九十八糸 九十九糸 一百糸

一糸 二糸 三糸 四糸 五糸 六糸 七糸 八糸 九糸 十糸
 十一糸 十二糸 十三糸 十四糸 十五糸 十六糸 十七糸 十八糸 十九糸 二十糸
 二十一糸 二十二糸 二十三糸 二十四糸 二十五糸 二十六糸 二十七糸 二十八糸 二十九糸 三十糸
 三十一糸 三十二糸 三十三糸 三十四糸 三十五糸 三十六糸 三十七糸 三十八糸 三十九糸 四十糸
 四十一糸 四十二糸 四十三糸 四十四糸 四十五糸 四十六糸 四十七糸 四十八糸 四十九糸 五十糸
 五十一糸 五十二糸 五十三糸 五十四糸 五十五糸 五十六糸 五十七糸 五十八糸 五十九糸 六十糸
 六十一糸 六十二糸 六十三糸 六十四糸 六十五糸 六十六糸 六十七糸 六十八糸 六十九糸 七十糸
 七十一糸 七十二糸 七十三糸 七十四糸 七十五糸 七十六糸 七十七糸 七十八糸 七十九糸 八十糸
 八十一糸 八十二糸 八十三糸 八十四糸 八十五糸 八十六糸 八十七糸 八十八糸 八十九糸 九十糸
 九十一糸 九十二糸 九十三糸 九十四糸 九十五糸 九十六糸 九十七糸 九十八糸 九十九糸 一百糸

こゝろ 無のうらぬをよりりりも兼八を福しむ
ちやう 知あり右ふあをせー二人の心の好むハ
さるむとげ 着官實りあてあふーしぬ

いふくちしちま兼八が務ハ調子を合せくお定りの座
付張ちふりりくーのちやうーと座敷の實ちハ人情を
がしんじふ兼八てあふいじん 三川はさく境りか
は兼八が座敷の中の時ふちらんと兼八二人のさーむい
あふらむちくーとおれ 兼八そむちやアおらんそのしも

りふあまのヨ 兼八 兼八 兼八 兼八
とれまーしん兼八もあふらう。もうあんやう座敷へ来て
ハこりしヨ 兼八 アイ取組一てをりまはがまじ今の内ハ
ちやういふヨ 兼八 おれがそのむちわんわんわんわんわんわん
もうあまさんの中も利きあふんごう今の中斗の
どく思ふと兼八をーしんの下ううあんごう知細のちや
ぶらりませんトまじろー 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八
うらん 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八 兼八

ううとんふ酒をいふさきつてもよく世話をしつくま
さるあやうー何も業どふるのヨ業「さうでございませよ
「さうアノ産婆の着入るんを襦袢めどいばりませひんじ
て子ア産婆さんと申すもらひ女御元ごありませは後
糸「さうサそまてさうさふ無をうのくねんであう
かううと思つて居るのサそまふ教さんぐいびく性
せふふのうううんぞてさうさうかあげるんさうら
さう教さんかあやう紙入と畑入をさるんをさるん
こ

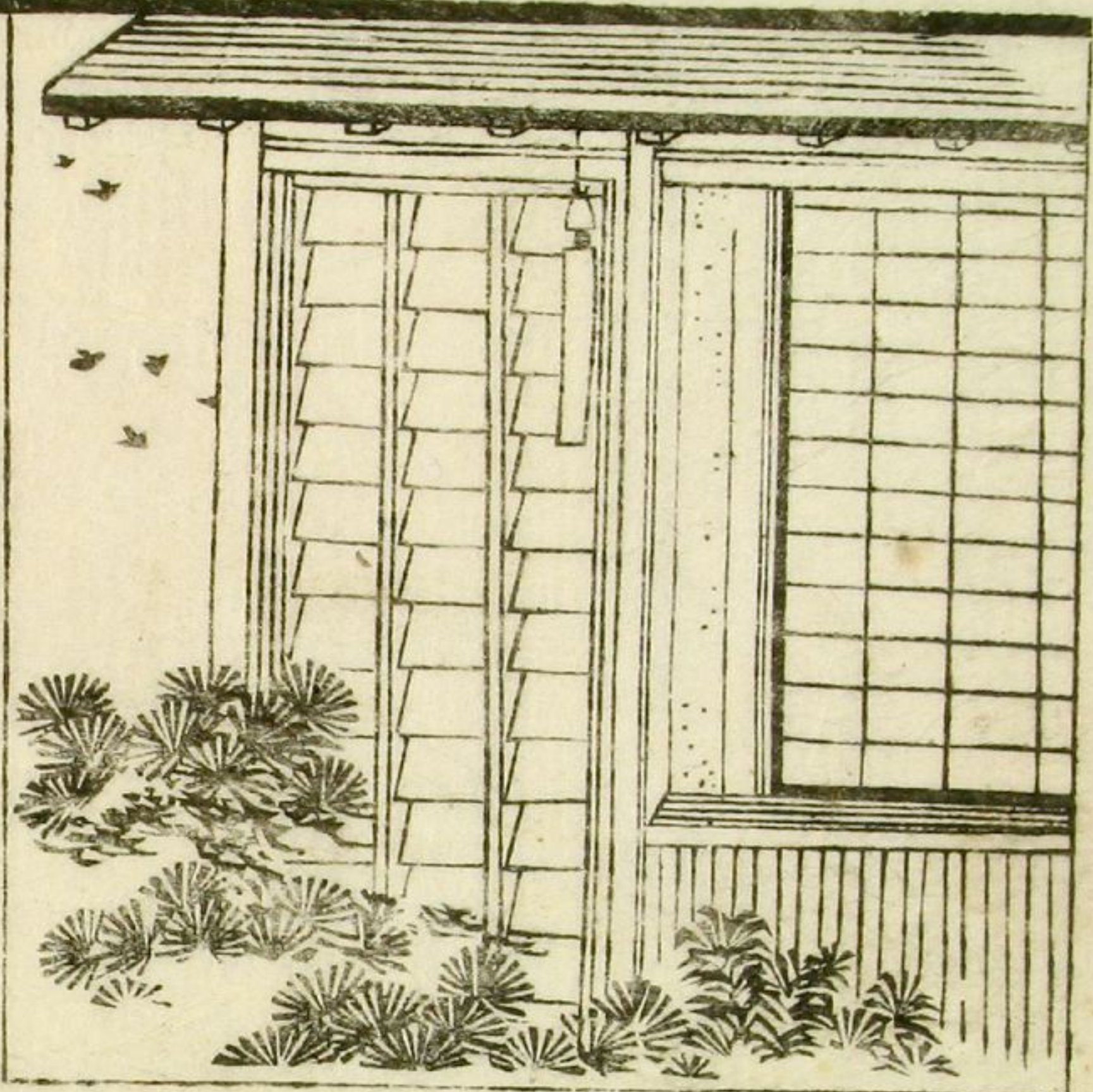
らうかろうとらうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
教さんふさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
うふつけさア来ささうさう中の町まぐさあめさう
「ぢやアわけません子「さうサアあゆはともいさあ
ハハハをうらなヨ。ツイをさうさうさうさうさうさう
節うあひさうな段あひの教さんごヨ。そまてが二階の
こひびきを「張場が居るのぐ丁交をさうさうさうさうのあ

の性務ちやうばとのふいきりてびやをさしさししめしめてをささり
 又またかんとかんとふゆふゆわわりりががアアツツツツ〜〜私わたくしややアア見み
 の因果いんぐわががてんてんふふちちままんん小こ苦く勞らうををううけけるるののままららぶぶ
 夜よさんさんゆゆもも舞まををぶぶりり〜〜ののちちむむりりととううををほほめめ〜〜か
 んかんままののヨヨ東あづまののややアア室むろ初はつりり〜〜是こゝ燈とうをを〜〜てて居ゐるる子こ
 ぶぶアア子こママガガ〜〜首くび尾びよよ〜〜ののががらら〜〜のの〜〜のの時とき〜〜と
 礼らいををららひひるる〜〜ママアアととままままでで〜〜ぶぶひひのの物もの〜〜見み
 るる〜〜トト〜〜東あづまののやや〜〜見み

第十二回

息いき小こ春はるのの世よをを上あ家や町まちのの米こめ八はち日にち以も思しひひががけけるる
 きき唐たう琴ぎんのの肉にく而にののゆゆめめふふけけ糸いとととををりり〜〜子こもも本もと
 後あとふふりりゆゆ〜〜浮う世よのの定さだめめるるささのの〜〜衣あままをを身み〜〜小こ
 中なか方かたももるる〜〜物もののの雲う春はるのの擢ひのの夕ゆふ月つき夜よ志しののんんでで来きるる
 商あきんど人ひと家やのの路ろ次じををををひひききぶぶ裏うら表ひらのの二に階かい〜〜るる人ひとのの
 物ものををままををててのの以も世よ〜〜級きゅう〜〜りり〜〜宮みや古こ路ろ〜〜のの情なさけ死し
 のの張はり〜〜〜〜勢せい〜〜のの一いち曲きょく加か〜〜八はち丈ぢやう〜〜中ちゆう〜〜〜〜

落ちをとりたる我らん場
あち ちり
 その津隅理入たの通り
あきつり さ とか



○吉原後

梅の香りと小春を梅はふとく
うめ せいの

まきだのうらまをうらうらげうをうらうらげ花を
あはま ちゆ
 みよしの嵐山千本の花の上をゆく名も
あらしやま せんぽん
 言傍茶の花後下を押切二挺立 中果
ことばちや ばなご しの せきぎり ちんてい ちゅうくわ
 ちびんやる言傍へけのち音たなまづきの
ちびん やる ことばち へけのち ねたなまづき
 とうふとうまぬ梅のうち像をさるとんか
とうふ とうまぬ 梅の うち 像を さるとんか
 後ぬ。見えぬのあつてのこらたづーあ
後ぬ。 見えぬの あつての こらたづーあ
 その足あつての鉄のあつてのこらたづーあ
その 足あつての 鉄の あつての こらたづーあ
 のらぶの葉のうら川る度きいのらうそく
のらぶの 葉の うら川る 度きいのらうそく

由漢字中... (vertical text in cursive)
 漢字中... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)
 ... (vertical text in cursive)



同 文字大夫
 宮古路豊後掾
 同 綱大夫

三味線
 岸沢三五郎

高崎
 与吉

契情吉原筏

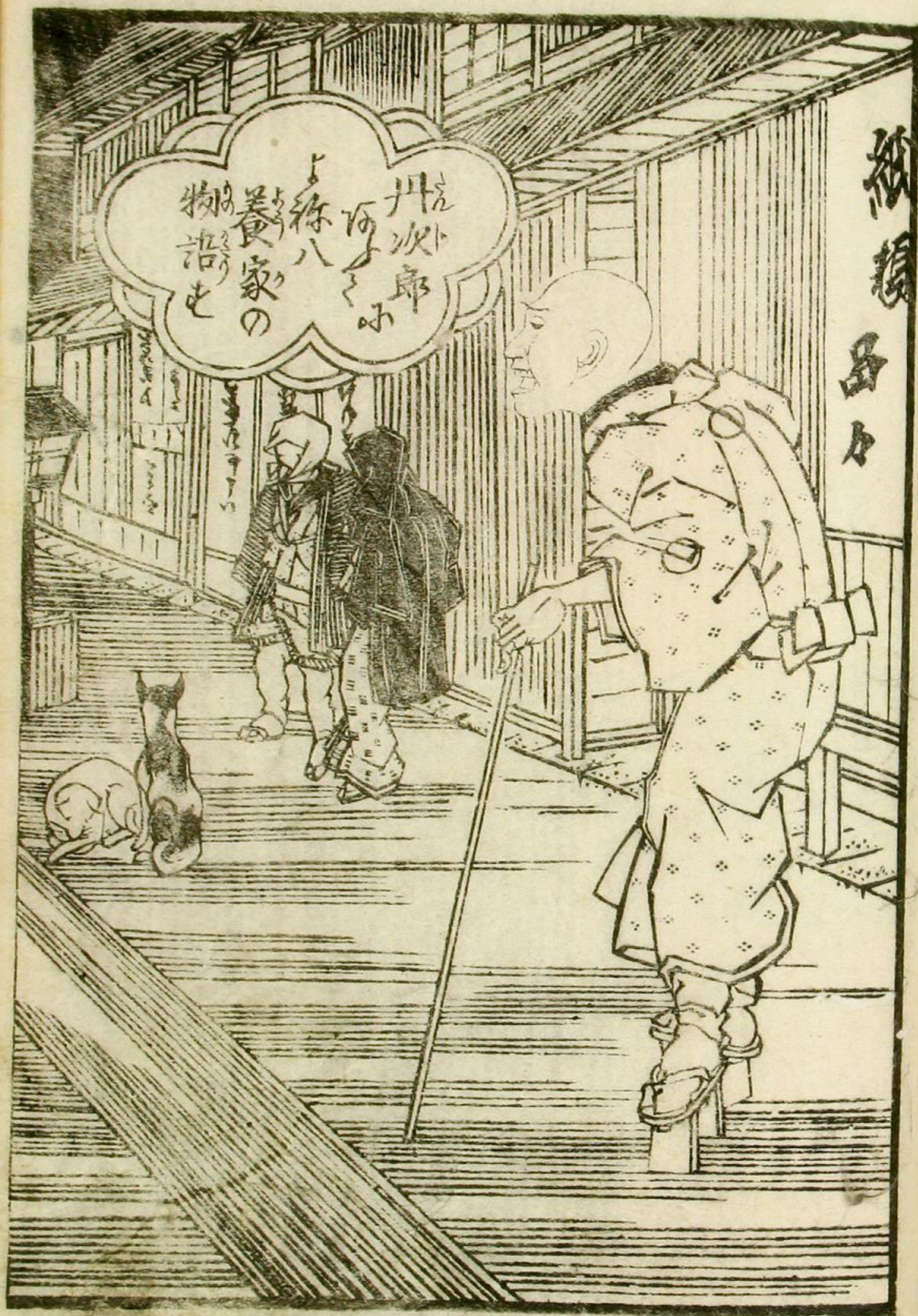
大字七ふり

正本所

えを海町

けいごん

しぐや勅右衛門



紙
撰
五
々



惠三
八
下
八
十
四

中つま今波つり〜津ささのよ昔こちらう〜とせと
 おのり〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 母さんママ
 どう〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 ぽんぽんぽんぽんぽんぽんぽんぽんぽんぽん
 アアアあま〜人かおる〜手へトつとせ。長家の娘の声
 かくせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 申りつ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 柳の枝はふ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ

絵の巻小歌のふ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 きの福づくをた〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ

さても〜八丹次〜八丹次〜八丹次〜八丹次〜八丹次
 の〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 さ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 ありける

混雑る〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ
 病死〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ〜とせ

きへん 鬼婆の悪知より丹次郎を他人再世子小
 つらつら せむせむ 森内の鬼婆が思ふはか
 せむせむ ひとり丹次郎の世に小娘の定方も
 昔の世代の悪知よりて忽ち世に上
 せむせむ ちりちりふらふらおもしろき丹次郎
 の身小罪をせむせむ世のびくくく如くあり
 せむせむ 由元来かきくく 欲情ふくく 生々笑
 せむせむ ちりちりふらふら 唐琴のふらふら

よりつらつらと詮方つとせむせむ 目をうけ
 せむせむ 上家の町の裏小娘の何と云ふ米八を
 せむせむ ちりちりふらふら 丹次郎を
 せむせむ 素よりけ裏の人の頼りやうまき せむせむ
 せむせむ ちりちりふらふら 丹次郎の世に
 せむせむ 上家の町 丹次郎の世に
 せむせむ ちりちりふらふら 丹次郎の世に
 せむせむ ちりちりふらふら 丹次郎の世に

の花はな 前後のち のものぐさの八捕はちとら せんもん
帝てい 承じょう 平へい のりこ 先せん 年ねん より 内うち 言ごん 際さい を 終はつ り 終しゆう して
及およ び この 卷まき 始はつ 六む 冊さつ を 内うち 一いつ 覧らん の うへに 年ねん 々ごと 捕とら ころを
はぞんト 内うち 言ごん 際さい 言ごん さい ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは ぬは
く 言ごん 際さい を 綱つな へと 志し する

あおんちゅうくもどき 春色しゅうしき 惠めぐみ の 花はな 二編ふたひら 卷まき 之の 下した 終しゆう

ふみぶぬしはあはれいふらうら
あはれいふらうらあはれいふらうら

ぬえとぬえ



Small square stamp or seal, possibly containing a library or ownership mark.

英國英華

聖經全書
卷之五
撒母耳下
第廿二章

廿二